



しののめY M C Aこども園 園だより

2023年度 9月号
発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」
わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

9月聖句 わたしは雲の中にわたしの虹を置く。

創世記 9篇 13節

猛暑の日々が続いた夏休みでした。暑さに負けそうになり耐えることの困難を感じながら、夏休み中の子どもたちはご自宅でどの様に過ごしているのかなと、幾度もなく頭を過った夏休みでした。長時間保育の子どもたちは、夏休みの間も元気に登園し溢れんばかりにエネルギーで、太陽が燦燦と輝く中、中庭の人工芝の上で元気いっぱい水遊びをしていました。

ある夏の日の出来事です。8:45頃になると、ちょうちょ組の子どもたちが中庭に先生と手をつなぎながら集まってきました。中庭には水の入ったたらいが用意され、手を入れたり、ペットボトルで作成したジョーロで水が出てくるのを楽し気に見て、触って、楽しんでいました。時々、顔に水がかかり、涙を流す姿もありましたが、0歳児のちょうちょ組の子どもたちも暑さの中の水遊びは楽しいようでした。そして9:00頃、みつばち組、てんとうむし組の子どもたちが合同で集まってきました。小さなバケツなどに水を入れたり流したり、時には先生にかけたり。たらいでは金魚すくいを楽しんでいました。年少さん、年中さん、年長さんになると動きが活発になり、中庭狭しと走り回っていました。ブルーシートを敷き、ホースで水を流し、その上を浮き輪で滑る「ウォーターライダー」は、見ている方も気持ち良くなりました。各年齢にあった「遊び」が展開され充実した時間を過ごしていました。

教室では「ラーメン屋さん」と「ウーバーイーツ屋さん」ごっこをしていました。ラーメン屋さんでは、お祭りやバザーなどに使うプラ容器に、毛糸で作った麺を入れ、具はなんと、しなちく、のり、ねぎなど、全て子どもたちの手作り品でした。そして隣の教室にはウーバーイーツのバックをつくり運んでいました。日常生活の延長線をお友達と工夫をしながら身近にある道具で作りに感じました。暑かった夏、外では夏らしく水を使っての遊び、エアコンの効いた教室でも、しっかりとお友達と協力をし、工夫をしながら遊んでいました。「内あそび」、「外あそび」共に、子どもたちの遊びの中に「生きる力」を感じました。

天気予報ではまだまだ残暑が続くようです。二学期が始まってからも熱中症、熱射病に気を付けながら保育をしてまいります。

二学期は行事に伴い、保護者の皆様に沢山のお支えをいただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。